

ADS通信

Vol.26



Seikatsu Sangyo
Laboratory

生活産業研究所株式会社

グループについて

天空率の算定には、連続した道路境界線や隣地境界線をひとつの境界線とみなして計算する方法があります。この計算方法をADSシリーズではグループと称しています。今回は、いくつかの例を挙げながら、グループの設定方法についてご説明します。

1. グループ

1-1. 一の道路の取扱い

1-2. 行き止まり道路のグループ設定

1-3. 分割地盤のグループ化

1-4. 東京方式の放射範囲

2. 各システムでの設定方法

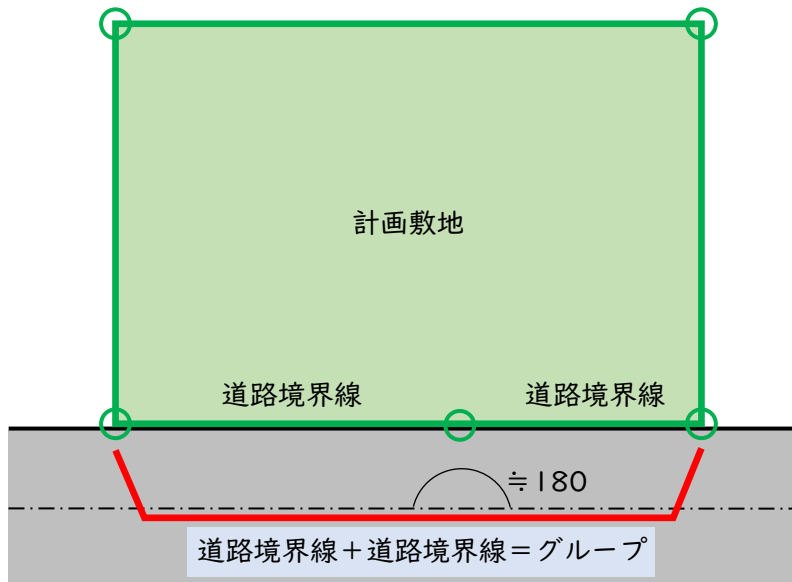
対象システム ADSシリーズ

製品名凡例

略称	製品名	最新バージョン
ADS-Family	ADS-win/ADS-LAX/ADS-LA	Ver10
BT-AC	ADS-BT for ARCHICAD	Ver13 (AC26)
BT-RV	ADS-BT for Revit	Ver12 (RV2023)
BT-VW	ADS-BT for VECTORWORKS	Ver7 (VW2023)
ADSシリーズ	上記全製品	

1-1.1の道路の取扱い

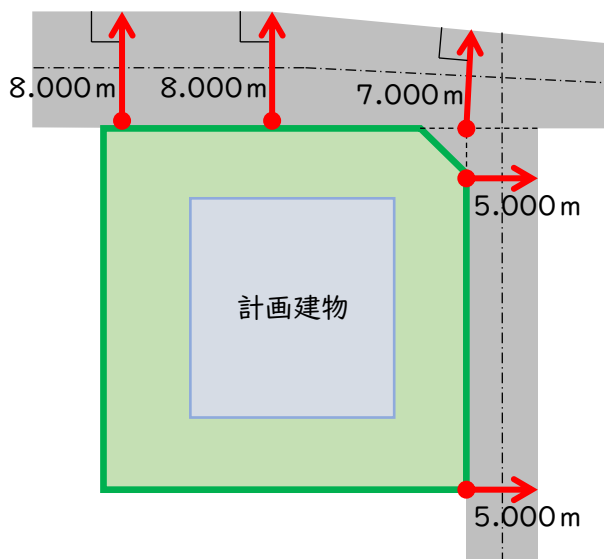
ADSシリーズでは、境界線ごとに天空率算定領域が生成されます。道路境界線が分かれていても、敷地側からみた道路中心線の屈曲角度が 120° を超えるものは、一の道路の取扱いとして計算することができます。



屈曲角度の条件を満たしている連続した道路境界線は、簡易設定で方式選択を行うと道路境界線毎に天空率算定領域が生成され、自動でグループ化されますが、敷地や道路の形状によっては、自動でグループ生成がされない場合もあります。尚、一の道路の取扱いはJCBA方式で定められていますが、隣地境界線には明確な規定はありません。隣地天空率計算のグループ化の可否については、審査機関への確認が必要です。また、隣地のグループ化と複合隣地は別の取扱いとなります。複合隣地の考え方は、[ADS通信Vol.21「複合隣地の設定についての解説」](#)をご参照ください。

異幅の連続道路をグループに設定する

下図のような道路をグループ化します。異幅道路の設定は、ADS通信 Vol.14「ADSシリーズの異幅道路」をご参照ください。



略称	リファレンスマニュアル 掲載ページ
ADS-Family	P382
BT-AC	P210
BT-RV	PI72
BT-VW	PI76

採用道路幅員を入力する

与条件設定の境界線条件にて、道路幅1と2にはそれぞれ始点と終点の幅員を入力し、採用幅種別を「任意」に変更、採用道路幅員に連続した道路の任意の幅員を入力します。採用道路幅員を統一することで、天空率算定領域生成の際にグループとなります。ただし、敷地や道路の形状によって、グループが生成できない事もあります。その場合は、手動でグループにまとめることができます。

デフォルトの状態では、採用道路幅員に道路幅1と2の最小値が表示されます。

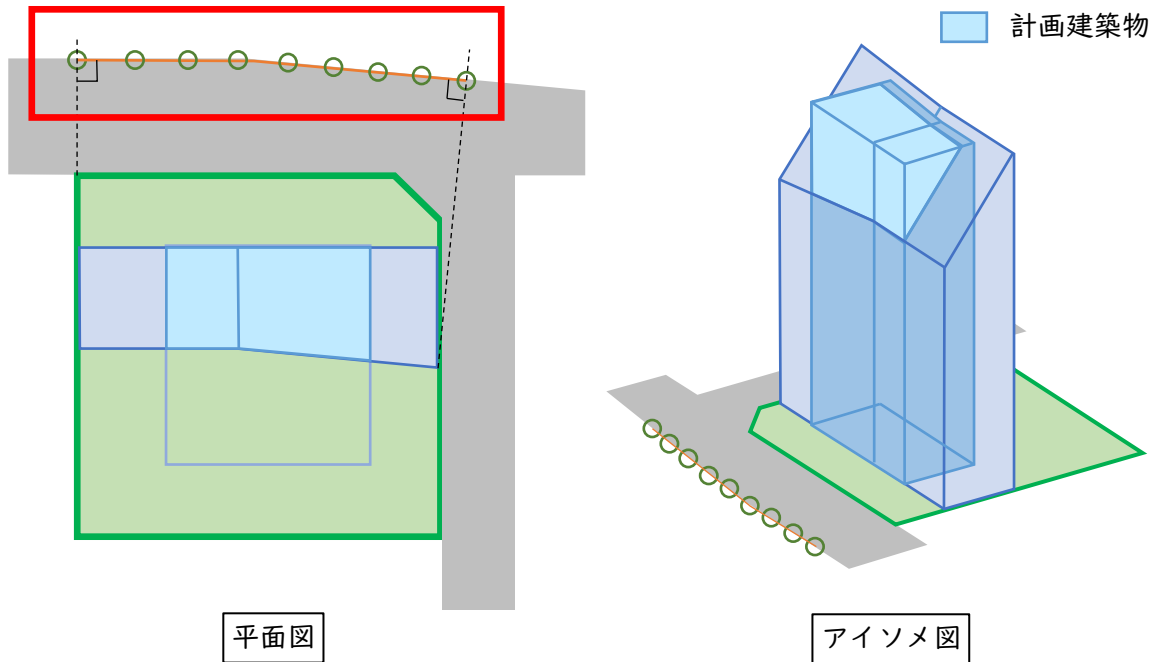
No	種類	道路幅1	道路幅2	採用幅種別	採用道路幅員	道路高1	道
1	道路	5.000	5.000	最小幅員	5.000	0.000	
2	隅切						
3	道路	7.000	8.000	任意	7.000	0.000	
4	道路	8.000	8.000	任意	7.000	0.000	
5	隣地			最小幅員			
6	隣地			任意			

道路幅1と2の値が異なる場合は採用幅種別を「任意」に変更し、採用道路幅員には任意の幅員を入力します。

天空率算定領域を生成する

天空率解析の簡易設定で天空率算定領域を生成すると、グループ1が生成されます。道路の反対側の境界線から、適合建築物又は敷地境界線端部へ向かって垂線を引き、交わったところが測定ラインの始点または終点となります。適切な形に生成されていない場合は、「グループ」メニューの測定ライン作成方法にて変更します。

測定ラインは道路の反対側の境界線に沿って自動生成されます。



○領域リスト

No	境界	種別	基本	グループ	適合処理	道
1	1	自動	基本		延長-延長	道
2	1	自動	基本		延長-延長	道
3	3	自動	基本	1	1/2カット	
4	4	自動	基本	1	1/2カット	

敷地上側の道路境界線から生成される天空率算定領域がグループ1としてグループ化されています。

※BT-RVには領域リストはありません。

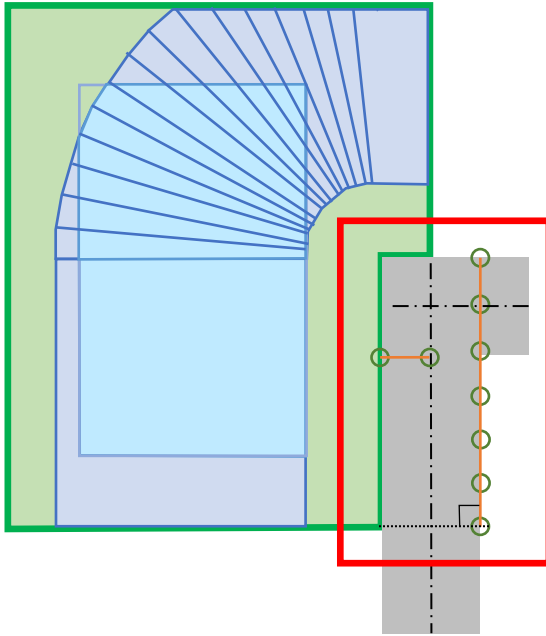
○測定ライン作成方法

プロパティ	作図線	測定	ステータス
道路斜線	グループ1	グループ作成	グループ削除
<input type="checkbox"/> 端領域の端点処理を[延長]にセット <input checked="" type="checkbox"/> 総延長 <input checked="" type="checkbox"/> 測定点番号を表示			
測定ライン作成方法(入隅側):	二等分線で分割		
測定ライン作成方法(出隅側):	交点		
測定ライン作成方法:	適合と敷地境界線の外側		
測定ライン両端の処理:	敷地境界線 適合建築物 適合と敷地境界線の外側 適合建築物が対象とした境界線 適合建築物が接している境界線		
[基本処理]			
<input checked="" type="radio"/> 基本 <input type="radio"/> 放射			

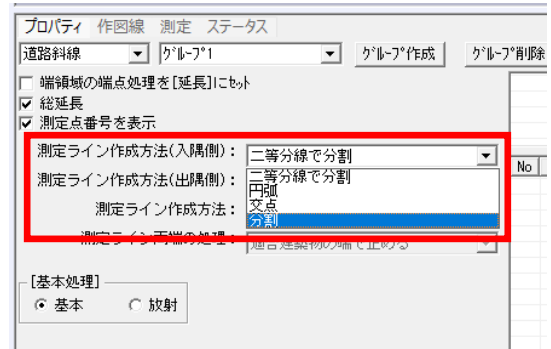
測定ラインが適切な形状になるものを選択します。
※最終的には審査機関への確認が必要です。

1-2.行き止まり道路のグループ設定

当該敷地に対して2面以上の接道がある行き止まり道路は、グループ化ができます。

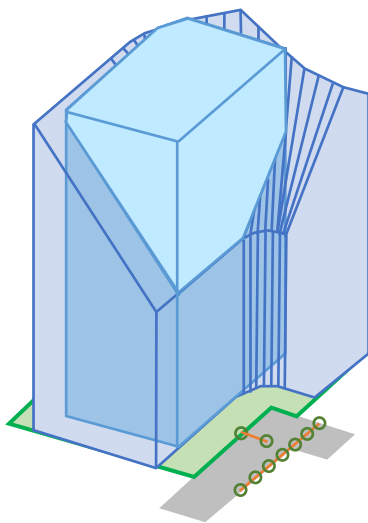


平面図



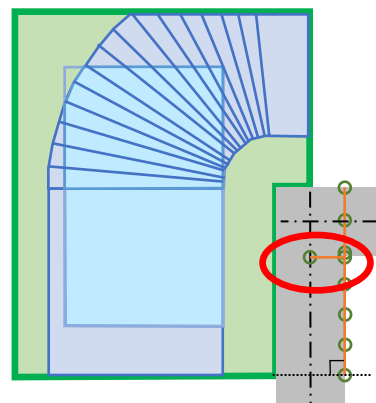
測定ライン作成方法（入隅側）を「分割」にします。
測定ラインは当該敷地接道部分の反対側の境界線上に配置します。接道していない箇所には不要です。

×測定ラインのNG例



アイソメ図

- 適合建築物
- 計画建築物



グループが自動生成されたままの状態では、適切な形状になりません。必ず測定ラインの設定を変更してください。

1-3.分割地盤のグループ化

敷地に地盤面が複数ある場合、隣地斜線制限と北側斜線制限については、建築基準法施行令第135条の7第3項による「高低差区分区域」の規定より、複数の地盤面をまとめて天空率計算を行うことはできません。グループ化はせず地盤面毎に計算します。しかし、道路斜線制限においては高低差区分区域の規定がないため、グループ化が可能です。詳しくは、ADS通信 Vol.17「敷地内に高低差がある場合の考え方」をご参照ください。

略称	リファレンスマニュアル 掲載ページ
ADS-Family	P346
BT-AC	P180
BT-RV	P139
BT-VW	P144

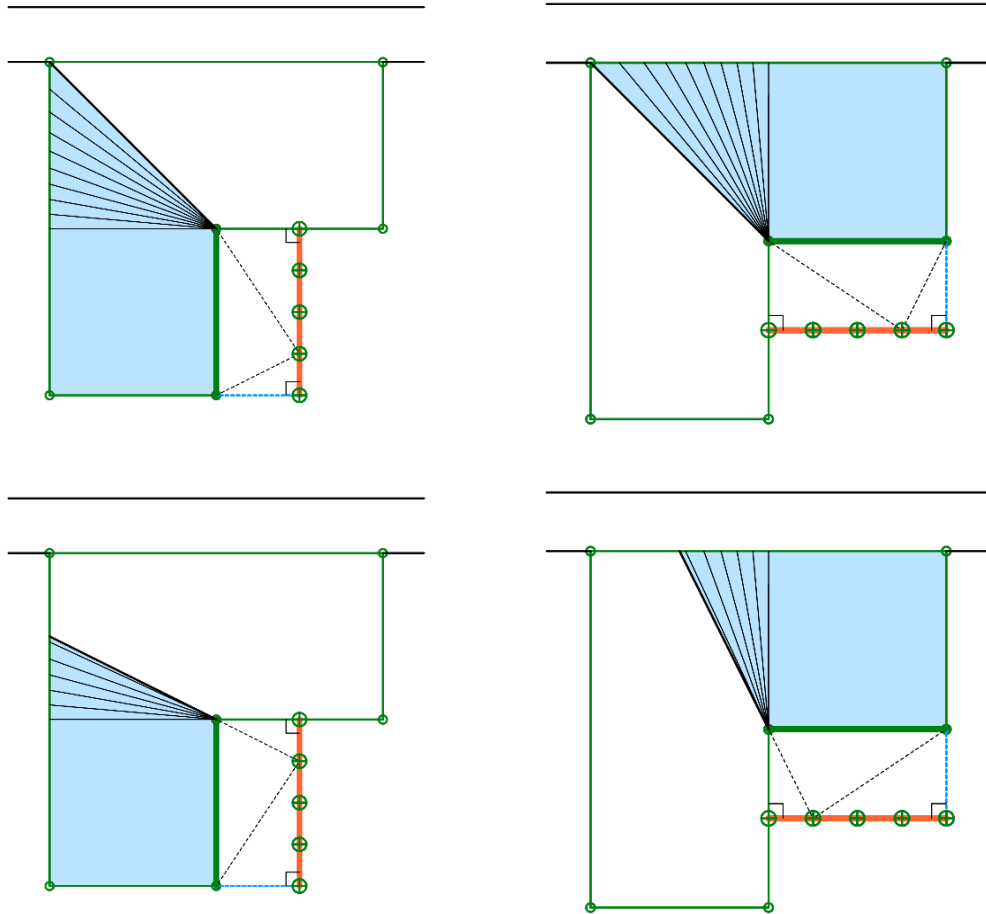
1-4. 東京方式の放射範囲

天空率算定領域の基本処理を「放射」に設定した場合、放射範囲を任意に設定します。東京方式で天空率算定領域をグループ化した場合には放射範囲の設定を行って下さい。グループに属さない単独の領域は、自動で放射範囲が設定されます。

略称	リファレンスマニュアル 掲載ページ
ADS-Family	P410
BT-AC	P218
BT-RV	P170
BT-VW	P200

○放射範囲の設定例

選択する測定点によって、入隅部分の適合建築物の見え方が変わります。



2.各システムでの設定方法

採用幅種別・採用道路幅員の設定は「境界線条件」から行います。
 グループの設定は「グループ」から行います。
 放射範囲の設定は「放射範囲」から行います。

ADS-Family

○採用幅種別・採用道路幅員

The '与条件設定' menu has '境界線条件' highlighted. The table below shows the configuration for road widths:

No	種類	道路幅員1	道路幅員2	採用幅種別	採用道路幅員	道路高1
1	道路	5,000	5,000	最小幅員	5,000	0,000
2	隅切					
3	道路	8,000	9,000	任意	8,000	0,000
4	道路	9,000	9,500	任意	8,000	0,000
5	陸地					
6	陸地					

○グループの設定

The '天空率解析' menu has 'グループ' highlighted. The dialog box shows the following settings:

- 道路料線: グループ1
- グループ作成: グループ作成
- グループ削除: グループ削除
- 境界線の端点処理を[延長]にもつ: 総延長
- 境界条件: 測定点番号を表示
- 測定ライン作成方法(入隅側): 二等分線で分割
- 測定ライン作成方法(出隅側): 交点
- 測定ライン作成方法: 適合と敷地境界線の外側
- 測定ライン(隅割)の処理: [適合建築物の隅で止める]
- 基本処理: 基本 敷割

○放射範囲

The '天空率解析' menu has '放射範囲' highlighted. The dialog box shows the following settings:

- 境界線: No.17 境界線:17
- 測定点: 7
- 放射範囲: 放射範囲
- 前面領域を含む: 前面領域を含む
- 項目: 用途地域 (準住居/70/200)
- 用途地域: 準住居/70/200
- 進捗距離: 1,001m
- 地盤高: 0,000m
- 道路幅員: 4,800m
- ピッチ: 4,800m
- 最大道路幅員: 4,800m

BT-AC

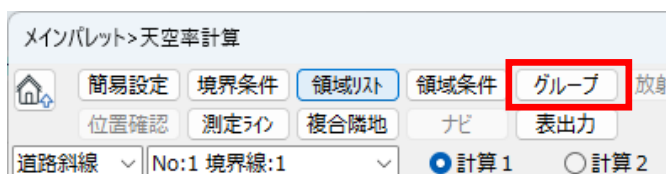
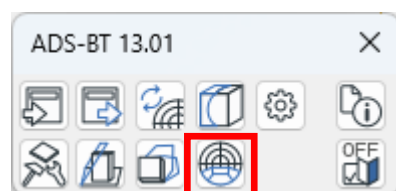
○採用幅種別・採用道路幅員



与条件設定>境界線条件

No	種類	道路幅1[m]	道路幅2[m]	採用幅種別	採用道路幅員	道路高1[m]	道路高2[m]	隣地高[m]
1	隣地							0.000
2	道路	4.000	4.000	最小幅員	4.000	0.000	0.000	0.000
3	隅切							
4	道路	7.000	8.000	任意	7.000	0.000	0.000	0.000
5	道路	8.000	8.000	任意	7.000	0.000	0.000	0.000
6	隣地							0.000

○グループの設定



天空率計算>グループ

グループ1 追加 削除

条件 領域

端領域の端点処理を[延長]にセット

総延長

測定点番号を表示

測定ライン作成方法(入隅側): 二等分線で分割

測定ライン作成方法(出隅側): 交点

測定ライン作成方法: 適合と敷地境界線の外側

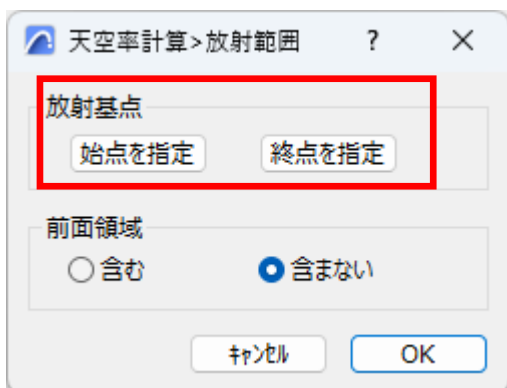
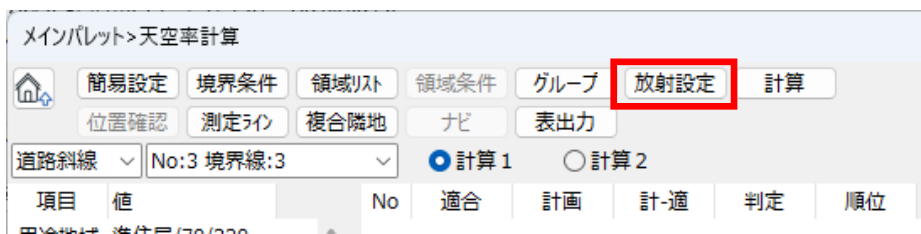
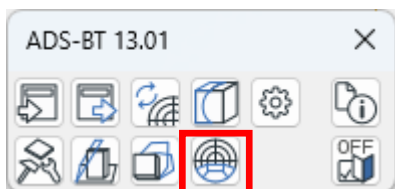
測定ライン(両端)の処理: 適合種別物の端を止めず

基本処理

基本 放射

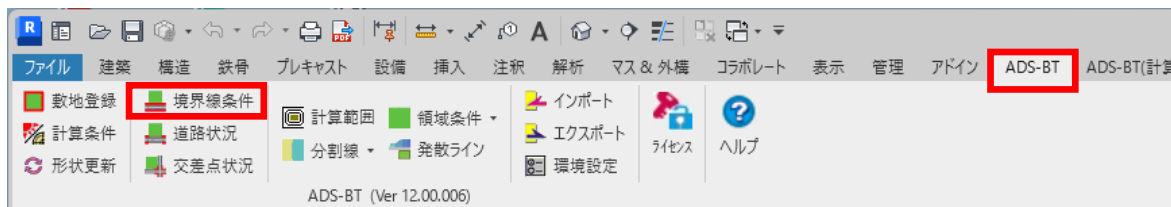
BT-AC

○放射範囲



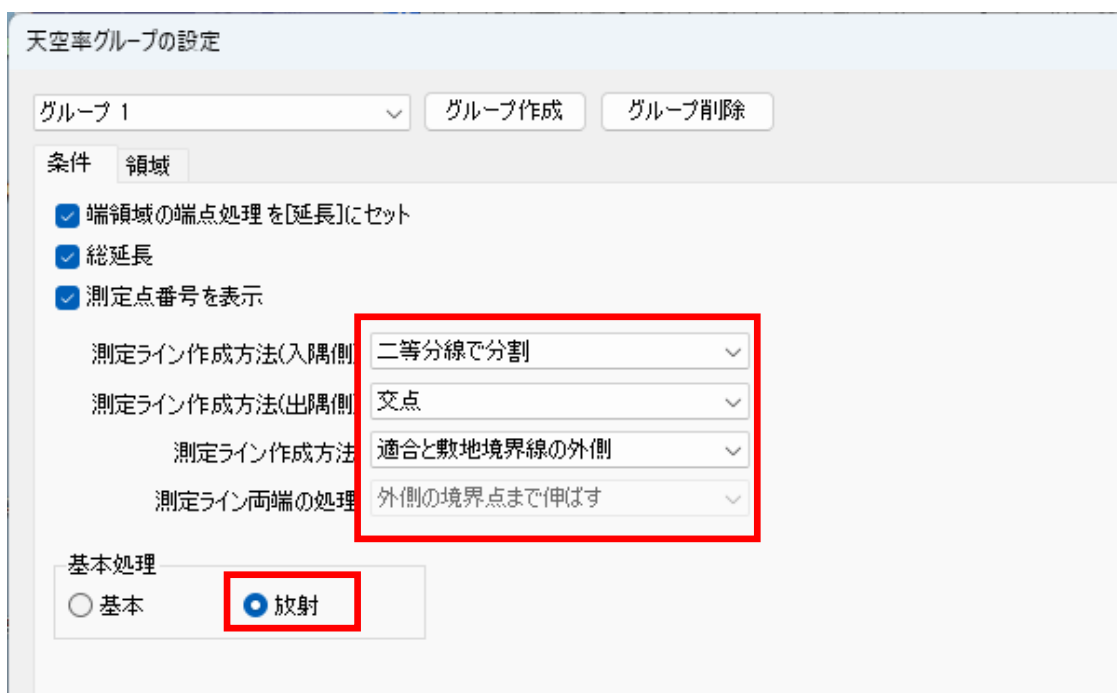
BT-RV

○採用幅種別・採用道路幅員



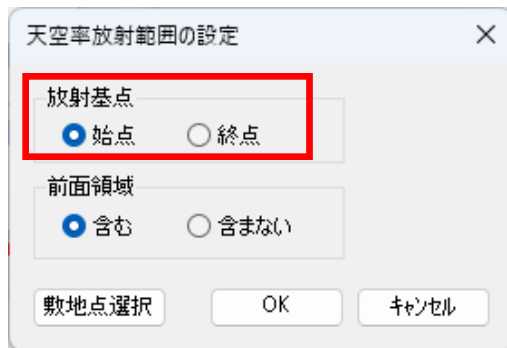
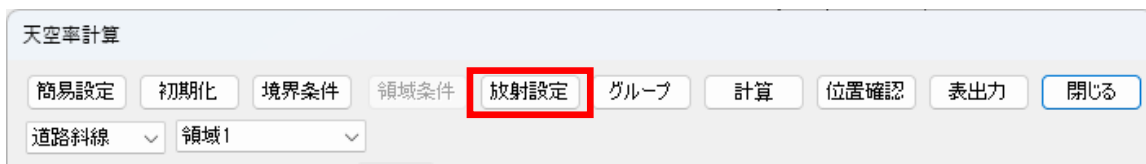
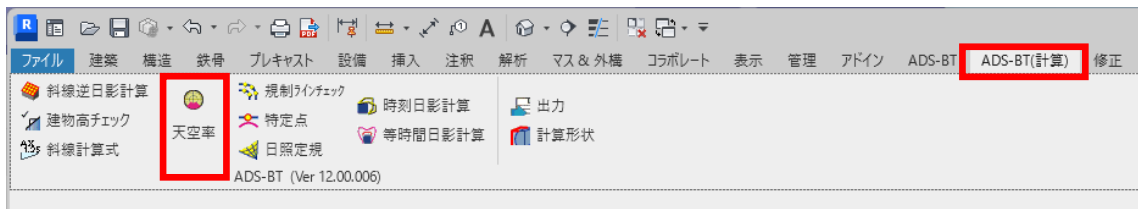
BT-RV

○グループの設定



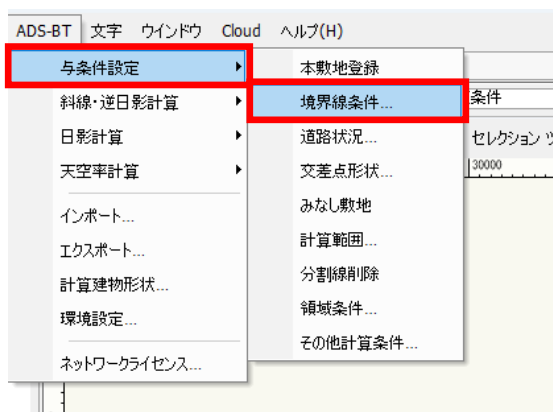
BT-RV

○放射範囲



BT-VW

○採用幅種別・採用道路幅員



境界線条件の設定

境界線No: 3

種類

- 道路境界線
- 隣地境界線
- 隅切辺

道路幅1: 7000

道路幅2: 8000

採用幅種別: 任意

採用道路幅員: 7000

道路高1: 0

道路高2: 0

隣地高: 0

特定道路: 70000

緩和幅1: 0

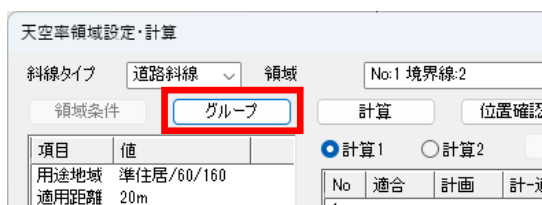
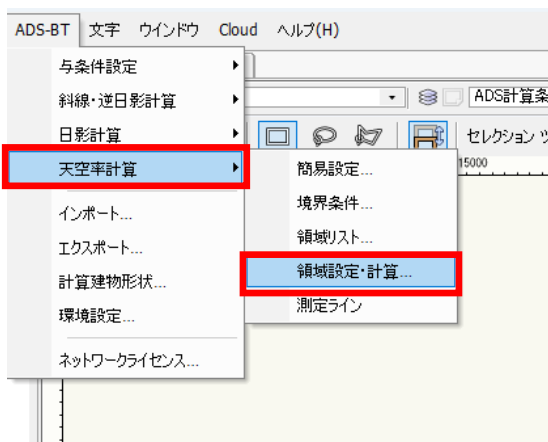
緩和幅2: 0

ヘルプを表示するには、F1キーまたは「?」アイコンをクリックしてください。

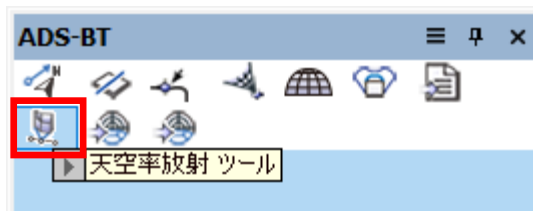
OK キャンセル

BT-VW

○グループの設定



○放射範囲





審査機関によっては異なる取り扱いや解釈が適用される場合があります。実際の運用は必ず審査機関にご確認下さい。

Ⓞ 次回予定：法第56条第3項・4項について

生活産業研究所株式会社
Seikatsu Sangyo Laboratory
<http://www.epcot.co.jp>

ADS通信 Vol.26

バックナンバー

<https://www.epcot.co.jp/support/adscom.php>

- ・資料の二次使用、改造、改変等は禁止しております。
- ・著作権は、生活産業研究所株式会社に帰属します。